

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	千葉リゾート＆スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
文化教養専門課程	スポーツトレーナー科 (2025年度入学生)	夜・通信	7単位	7単位	
	スポーツトレーナー科 (2026年度入学生)	夜・通信	7単位	7単位	
	スポーツ＆アクティビティ科 (2025年度入学生)	夜・通信	7単位	7単位	
	スポーツ＆アクティビティ科 (2026年度入学生)	夜・通信	7単位	7単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.sanko.ac.jp/disclosure/chiba-sports/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	千葉リゾート&スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/yakuinmeibo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	R7.6.16～ R7.6.16 から 4年以内に終 了する会計 年度のうち 最終のもの に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	法務
非常勤	弁護士	R7.6.16～ R7.6.16 から 4年以内に終 了する会計 年度のうち 最終のもの に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	法務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	千葉リゾート&スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。 原則として法人統一の様式を使用し、客観的に分かりやすい「授業計画」「到達目標」「成績評価基準」を作成・公表している。 公表はインターネットによる他、授業内で当該生徒へ説明する。また、習熟度等に応じて授業計画が変更される場合は、都度説明を行うものとする。(公表の時期は毎年度4月を目途とする)	
授業計画書の公表方法	https://www.sanko.ac.jp/disclosure/chiba-sports/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 素点 100～90：評価 5 単位認定 素点 89～70：評価 4 単位認定 素点 69～50：評価 3 単位認定 素点 49～30：評価 2 単位認定 素点 29～：評価 1 単位不認定 通年科目においては前期・後期の評価の平均値を学年評価とする。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。 また、科目ごとにシラバスに定められた試験に不在だった生徒に対して追試験を行う。この際公欠でない、本人に起因する理由で不在であった生徒については、8 掛けにて採点する。 単位不認定の場合、必修科目においては次年度に再履修し、選択科目については必ずしも再履修する必要はない	
3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 試験・レポートの成績等により算出した 5 段階評価の全科目の平均値を客観的な指標とし、成績管理を行う。 なお、G P Aは、試験内容やシラバスなどを作成する際の参考データとして、教育の質を見直すための数値として導入している。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.sanko.ac.jp/disclosure/chiba-sports/docs/a07437c79d00f637b5eb9e9451c47ed38a972175.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 修業年限以上在籍し、所定の単位を修得していること。 在籍期間の学納金が完納していること。 転入生に関しては、前籍校で認定されている在籍年数・単位数を含めて、上記の条件を満たした場合に卒業を認定する。 以上の条件を満たした生徒に対し、卒業を認定する。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.sanko.ac.jp/disclosure/chiba-sports/docs/a07437c79d00f637b5eb9e9451c47ed38a972175.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	千葉リゾート&スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
財産目録	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養 専門課程	スポーツトレーナー科 (単位制/2025 年度入学生)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位	116 単位	48 単位	10 単位	0 単位	33 単位
			207 単位				
分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養 専門課程	スポーツトレーナー科 (単位制/2026 年度入学生)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位	116 単位	48 単位	10 単位	0 単位	33 単位
			207 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		202 人	0 人	12 人	11 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。

成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 ＜目指すべき人材像＞ トレーナーとして、基本的な姿勢・動作分析と評価ができ、レジスタンス トレーニングやコンディショニング、機能改善に必要なスキルを習得して、幅広い層・ニーズに応じた運動プログラムの作成、指導ができる。
学修支援等
（概要） 担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。 また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
80 人 (100%)	2 人 (2.5%)	77 人 (96.3%)	1 人 (1.2%)
（主な就職、業界等） ・ 整体院 ・ リラクゼーション施設			
（就職指導内容） ① 面談 ②企業ガイダンス ③施設実習 ④就職希望決定 ⑤履歴書（書類）指導 ⑥面接指導（模擬面接） ⑦内定後の指導 ⑧卒業生講話 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・（公財）日本スポーツ協会認定 アスレティックトレーナー ・ JATI 認定トレーニング指導者			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
178 人	16 人	9.0%
(中途退学の主な理由) ・ 学校生活不適應 ・ 進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・ カウンセリングの設置 ・ 保護者連携の強化		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養 専門課程	スポーツ＆ アクティビティ科 (単位制/2025 年度入学生)				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位	48 単位	44 単位	4 単位	0 単位	30 単位
			126 単位				
分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養 専門課程	スポーツ＆ アクティビティ科 (単位制/2026 年度入学生)				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位	48 単位	44 単位	4 単位	0 単位	30 単位
			126 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		80 人	0 人	12 人	11 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2 月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする ＜目指すべき人材像＞ インストラクターとして、主にグループレッスンに必要な知識・技術を身に 付け、人々を惹きつける魅力あるレッスンを展開し、健康づくりのための プログラム提供と運動指導ができる。

学修支援等
(概要) 担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。 また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
-人 （ -%）	-人 （ -%）	-人 （ -%）	-人 （ -%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 2025 年度新設学科のため、対象なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45 人	3 人	6.7%
（中途退学の主な理由） ・学校生活不適應 ・進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・カウンセリングの設置 ・保護者連携の強化		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
スポーツ トレーナー科	100,000 円	800,000 円	403,000 円	施設設備費(200,000 円) 教材実習費(203,000 円) ※選択科目により金額が異なる
スポーツ＆ アクティビティ科	100,000 円	800,000 円	423,000 円	施設設備費(200,000 円) 教材実習費(223,000 円) ※選択科目により金額が異なる
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/disclosure/chiba-sports/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制） 学校関係者として、関連分野の業界関係者、卒業生、ならびに地域に根差した関連企業等の中から3名を選出し、学校関係者評価委員会を設置する。 委員の選出区分は、企業関係者、卒業生、保護者等とし、当該学校の教職員は委員となることができないものとする。 同委員会においては、教育目標および教育活動について評価を行うものとし、主な評価項目は、教育課程、進路指導、学生支援、教育環境等とする。 評価に当たっては、「専修学校における学校評価のガイドライン」に定める評価項目を用いて実施した自己点検・自己評価の結果を基に行うことを基本方針とする。 また、評価結果は学校のホームページで公表するとともに、委員会で得られた意見については速やかに集約し、各業務担当者へフィードバックする。 さらに、評価結果を踏まえた改善方策については、実施時期および責任者を明確にした上で計画的に実行し、学校運営の改善に活用するものとする。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
スポーツ業界企業 取締役	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	関連業界関係者
スポーツ業界企業 社員	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	卒業生
通信制高校 教頭	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	学識経験者
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/disclosure/chiba-sports/		

(備考)
第三者評価未実施（実施準備中）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/chiba-sports/
